

### ・スノーマシンとは?

専用のリキッドとマシンを使う事により、小さな「泡粒」をブロワーで飛散させて擬似的に雪を降らせるレンタル機材です。雪の持つ、柔らかでしつとりとしたイメージをとても簡単に提供する事が可能です。100V の電源と適度な設置高が必要ですが、視覚効果的には「本物の雪」にしか見えません。また、専用のリキッドは人体に有害な成分を使わず作られていますので、誤って飲食物に混濁しても無味無臭無害ですので、非常に安全です。

また、泡粒は衣服に付いてもシミにならず、入退場時やスナップ撮影の背景等、人が出入りするシーンにおいても安心です。(衣類の状態によっては水滴跡が残る事がありますが、通常の洗濯もしくはクリーニングにて取り除くことができます。)



### セット内容と各名称



スノーマシン本体正面



スノーマシン本体上面



スノーマシン本体背面

◀ 電源スイッチ



スノーマシン本体側面

納品物には 上記のセット内容以外に電源コードと専用リモコン、専用リキッドが 2L 付属しています。

## ・設置の手順

**01.** 最初に、付属している専用リキッドをリキッドタンクに注ぎます。タンク内の液面が低い、もしくはリキッドが無い状態での運転は本体のモーターが必ず破損しますので、付属リキッド 2L 全て、タンク内に注ぎ、空回しをしないようにして下さい。尚、液漏れを防ぐ為に、返却時は必ずもとのボトル内にタンクからリキッドを戻してご返却下さい。

**02.** 次に、01 の行程でリキッドを補充したタンクを、スノーマシン本体にセットします。タンクは本体のハンドルに近い側にタンクのフタを向けてセットし、タンク内にチューブを挿入し、しっかりとキャップを締めます。この時、チューブが途中で折れ曲がらないように、かつタンクの底にチューブの先が付いている状態になっているか、見ながらキャップを締めて下さい。折れ曲がっていると、リキッドをポンプが吸い上げられず、雪が出ない、もしくは本体を破損する恐れがあります。

**03.** 次に本体背面部に電源コードと専用リモコンを接続します。電源スイッチの横にある電源プラグ部にコードを差込み、専用リモコンのプラグを 03 の○の部分に差込みます。この時、必ず電源スイッチを OFF の状態である事、リモコンのスイッチが OFF である事をあらかじめ確認してから各作業を行い、リモコンの接続端子は「カチッ」と音がするまで差込んで下さい。

**04.** 電源、リモコンのコードともに、接続が完了した後、電源スイッチを投入して下さい。投入後はスイッチに赤いランプが点灯します。

また、電源スイッチの上にある小さなスイッチ（エアボリュームスイッチ）は MIN にすると若干ブロアー音が小さくはなりますが、標準時とほとんど変わりがなく静音効果があまり得られませんので MAX でお使い頂く事をお勧めします。

**05.** 04 の行程後、リモコンの「赤いランプが点灯」したら準備が完了です。（電源投入と同時に点灯）赤のランプ点灯後はリモコンのボタンを押すと雪が噴射されます。尚、リモコン中央にある「アウトプットボリューム」は噴出量を調整するのですが、ミニマムでは雪がでません。ボリュームは 7 割以上位置（中央より右に 30 度位の位置）にしてスイッチを入れて下さい。尚、連続使用は 2L で約 15 分です。

以下の点にご注意下さい。

- ・ご使用は水平な状態でお使い下さい。
  - ・リキッドが入っていない状態での運転は絶対にしないで下さい。
  - ・コントローラー OFF の状態でも、本体が熱を持ちますと、自動的にファンが回転し、噴出時と同じようなファンの音を発します。
- ご使用にならない時は、本体の電源を OFF にする事をお勧めします。

